

## 令和元年度アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) 実施事業および計画

## 1. アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)事業の運営方針の検討、運営状況の確認等を行うとともに、法人化の妥当性について助言をいただくことを目的に設置した。

## 【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会委員】

区 分	氏 名	所 属・役 職
座 長	松原 豊彦	立命館大学食マネジメント学部教授 (草津未来研究所所長)
副座長	北中 建道	草津市副市長
委 員	及川 清昭	立命館大学理工学部特命教授 ・ キャンパス計画室長 (アーバンデザインセンターびわこ・くさつセンター長)
	武田 史朗	立命館大学理工学部都市デザイン学科教授 ・ キャンパス 計画室副室長 (アーバンデザインセンターびわこ・くさつ副センター長)
	肥塚 浩	立命館大学大学院経営管理研究科長 (草津未来研究所顧問)
	田畑 泉	立命館大学 BKC 地域連携室長 (スポーツ健康科学部教授)
	伊庭 健治	草津市まちづくり協議会連合会副会長
	堀江 尚子	市民公募 (認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクト代表)
	服部 忠満	パナソニック株式会社アプライアンス社 人事・総務センター総務部総務一課主務
	片岡 一明	株式会社滋賀銀行草津支店長 (6/26 から) ※1
	加藤 幹彦	草津商工会議所専務理事
	神部 純一	滋賀大学教育学部教授
	秦 憲志	滋賀県立大学地域共生センター主席調査研究員
	阪本 崇	京都橘大学副学長
	青木 均	草津市コミュニティ事業団常務理事
	松浦 昌宏	滋賀医科大学研究戦略推進室産学連携推進部門長 特任教授
深尾 昌峰	龍谷大学政策学部教授 龍谷エクステンションセンター・センター長	

※1 人事異動に伴い、肥田明久氏から変更

## 【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会の開催】

	開 催 日	内 容
第 1 回	令和元(2019)年 5月31日	・懇話会委員自己紹介 ・前年度の活動テーマと実績について ・今年度の活動テーマと予定について
第 2 回	令和元(2019)年 10月10日	・今年度実施事業実績および計画について
第 3 回	令和2(2020)年 2月頃 (予定)	・令和元年度事業実施状況について ・令和2年度実施予定事業について ・連携体制について

## 2. アーバンデザインスクール

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業において、市民と専門家をつなぐコミュニケーターを育成することを目的に「アーバンデザインスクール」を前期と後期でそれぞれ各 5 回実施する。

### 【前期】(6月～10月)

都市生活の質的な向上をめざし、既存の都市環境をつくりかえながら、人間に望ましいまちづくりを行うアーバンデザインの考え方を、昨年出版された『アーバンデザイン講座』(彰国社)の著者全員とともに学ぶ。

	開催日	内 容	参加人数 (人)
第1回	令和元(2019)年 6月12日	タイトル：オープンスペースの設計 講演者：遠藤新氏(工学院大学建築学部教授)	37
第2回	令和元(2019)年 7月19日	タイトル：地域資産を都市に活かす 講演者：野原卓氏(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)	29
第3回	令和元(2019)年 8月2日	タイトル：都市と交通の接点をデザインする 講演者：黒瀬武史氏(九州大学大学院人間環境学研究院准教授)	18
第4回	令和元(2019)年 9月27日	タイトル：スモールアーバニズム 講演者：阿部大輔氏(龍谷大学政策学部教授)	15
第5回	令和元(2019)年 10月12日	タイトル：アーバンデザインセンター 講演者：前田英寿氏(芝浦工業大学建築学部教授)	-

コーディネーター：及川清昭氏 UDCBK センター長(立命館大学理工学部特命教授)

### 【後期】(11月～3月)

『小さな空間から都市をプランニングする』(学芸出版社)の著者たちとともに、小さな空間のつくり方を変えることで都市を計画する手法を具体的事例を通して学ぶ

	開催日	内 容	参加人数 (人)
第1回	令和元(2019)年 11月20日	タイトル：未定 講演者：阿部大輔氏(龍谷大学政策学部教授) 武田重昭氏(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授)	-

(他、現在企画中)

コーディネーター：武田史朗氏(立命館大学理工学部都市デザイン学科教授/UDCBK 副センター長)

### 3. アーバンデザインセミナー

アーバンデザインに必要となる要素を学び、まちづくりに関わることのエッセンスを学ぶ場とすることを目的とする。調査研究や社会実験につながるよう、事業プロジェクトと連動したテーマやまちづくりに有益な話題を取り上げ、多様な層の問題や関心にこたえる内容を目指します。日常生活の中からまちのにぎわいにつながる事例、SDGsなどについて現在企画中(年間 15 回程度)。

	開催日	内 容	参加人数 (人)
第1回	令和元(2019)年 6月29日	テーマ：スウェーデンに学ぶ 豊かなまちの使い方 ～草津をもっと豊かに使ってみよう！ 講師：村田明子氏（立命館大学理工学部研究員）	17
第2回	令和元(2019)年 7月26日	テーマ：食生活の未来と持続可能なまちづくり 講師：田中浩子氏（立命館大学食マネジメント学部教授）	20
第3回	令和元(2019)年 8月21日	テーマ：食の風景から考えるまちづくり 講師：百武ひろ子氏（県立広島大学大学院経営管理研究科教授）	20
第4回	令和元(2019)年 9月13日	テーマ：SDGsから考える食と農とまちづくり 講師：吉川成美氏（県立広島大学大学院経営管理研究科准教授）	16
第5回	令和元(2019)年 8月22日	テーマ：草津宿本陣・東海道の「いま」と「これから」 ～VRの事例を通してまちを考えるワークショップ コーディネーター：松田游也氏（立命館大学大学院理工学研究科修士1回生）	15
第6回	令和元(2019)年 9月20日	テーマ：草津おみやげラボコラボセミナー 草津いいもの探しツアーを考えよう！～「歩いて巡りたくなる地域のアイデア」をバス+徒歩で実現可能に 講師：藤井健史氏（立命館大学理工学部建築都市デザイン学科助教） コーディネーター：大塚佐緒里氏（草津おみやげラボ所長）	21
第7回	令和元(2019)年 10月19日	テーマ：「超珍」シビックプライドを育てるガイドのいないまちあるき 講師：山本あつし氏（事業プロデューサー、大阪芸術大学講師）	-

※第2回から第4回までは「食とまちづくり」の全3回のシリーズ

### 4. UDCBK 社会実験準備事業等

草津市総合政策部草津未来研究所アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(以下、「UDCBK」という。)は、草津市の委託事業として、令和元年度 UDCBK 社会実験準備事業等実施要項の定めるところにより、市と包括協定を締結している大学(立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、龍谷大学)に対し、草津市の政

策の柱である「健幸都市」「コンパクトシティプラスネットワーク」「草津市版地域再生計画」などのまちづくりに関わり、UDCBK が設定したテーマについて、データに基づく政策の必要性、実現するために必要な制度設計、効果を検証するための社会実験計画の策定などの検討業務の委託の募集を行った。

その結果、1 大学 5 事業で応募があり、今年度は区分 A で 1 事業、区分 B で 3 事業実施している。

区分	内容	委託金総額	1件あたり上限額
A	都市デザイン連携プロジェクトとして設定するもの	50万円	30万円
B	上記によらない個別テーマに基づくもの	50万円	20万円

### 【草津市社会実験準備事業等一覧】

区分A (上限30万円)

単位：円

募集テーマ	応募事業名	応募大学	代表者名	事業責任者名	事業費総額	審査決定金額
住民参加の新しい公園づくり	住民参加の新しい公園づくり－南草津プリムタウンの公園中心型コミュニティデザインを目指すための社会調査・実験	立命館大学	金 度源	金 度源	300,000	300,000

区分B (上限20万円)

単位：円

募集テーマ	応募事業名	応募大学	代表者名	事業責任者名	事業費総額	審査決定金額
歩いて暮らせるまちづくり	自転車利用を促す駐輪場や道路などの公共空間のデザイン	立命館大学	中谷 吉彦	岸本 俊輝	199,936	100,000
安全・安心に配慮した公共空間の整備	南草津駅前ロータリーの混雑状況調査とそれに基づく改善方策の検討	立命館大学	塩見 康博	塩見 康博	200,000	200,000
健康活動を誘発する環境づくり	ICTを利用した健康的な食生活と散歩を誘発するまちづくり	立命館大学	西原 陽子	西原 陽子	200,000	辞退
楽しく歩ける路面標示のデザイン	「くさつ歴史健幸散策」のための路面標示デザインの提案－草津の歴史に思いをはせる歩行者ネットワークの形成に向けて－	立命館大学	藤井 健史	藤井 健史	200,000	200,000

### 【今回の審査における課題】

今年度は募集区分設定、募集開始時期の早期化など改善を図り募集を行った。結果は上記のとおりであり、応募件数が増加したものの1大学のみの応募であったこと等から次年度に向けて、募集方法、時期、申請および採択件数、委託金額、審査方法等について改善を図る。

## 5. 独自プロジェクト

令和元(2019)年度実施事業に基づき、次の事業を実施した。

### (1) 都市連携プロジェクト

#### ① 南草津駅周辺の公園を中心としたまちづくり

プリムタウン1号公園づくりについては、本年度社会実験準備事業 A として取組むこととした。みなくさまちライブラリーについては、前年度の企画で果たせなかった東山道記念公園(以下、「西口

広場」とする)を会場とした植本祭による、公園利用の促進と、パブリックスペースを市民が主体的に使いこなす活動事例の創出への再挑戦である。

西口広場が市民によって主体的に使いこなされる風景を創出することで、市民のアクティビティをまちに表出させると同時に、UDCBK が市民とともに、パブリックスペースの新たな使い方や質の向上、またアーバンデザインに関する議論を行う場の創出につなげることを目指す。

	開催日	タイトル	参加人数
1	令和元(2019)年 7月27日	公園で、本を読みあって過ごしませんか? “まちライブラリー” 夕涼み企画	7人
2	令和元(2019)年 10月5日	みんなで一緒に、木で本棚をつくろう まちと人をつなげる本棚 “まちライブラリー” ものづくり企画	26人

## ② 草津市版地域再生計画支援

立命館大学食マネジメント学部の田中浩子教授が主宰する「食のソーシャルイノベーション研究会」の食を起点としたまちづくり研究と連携した取組みを進め、前述のアーバンデザインセミナー「食とまちづくり」(3回シリーズ)として開講した。今後、共同の取組みを進める。

## (2) 都市と交通シナリオスタディプロジェクト

2020～2040年の南草津駅周辺のアーバンデザインを複数の選択肢として描く中で交通インフラを含む望ましい都市空間のあり方について議論を深め課題解決のためのアイデアを蓄積し整理するため、立命館大学・滋賀県・草津市都市計画部で研究会を進めている。

	開催日	共催者	参加人数
1	令和元(2019)年 7月17日	立命館大学・滋賀県・草津市都市計画部	8人
2	令和元(2019)年 8月21日	立命館大学・滋賀県・草津市都市計画部	8人
3	令和元(2019)年 10月9日	立命館大学・滋賀県・草津市都市計画部	8人

## (3) 大学生が住むまちプロジェクト

今年度は課題の整理を行うこととしており、事務局での作業を進める。

立命館大学理工学部建築都市デザイン学科3回生のデザイン演習課題の模型をUDCBKに設置する。

## 6. 共催イベント

産学公民連携の一環で下表の事業を実施した。

### 【共催イベント】

	開催日	タイトル	共催者	参加人数
1	令和元(2019)年 5月11日	高校生の考える「地域活性化・地域貢献」	光泉高校	48人
2	令和元(2019)年 8月21日～9月4日	クイズ玉川@南草津	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議	39人

## 7. オープンスペースを活用した定例イベント

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)のオープンスペースを利用して、「やさしい にほんご さろん」を定期的を実施する。

「やさしい にほんご さろん」とは、外国にルーツを持つ人と日本人がやさしい日本語で交流を深めつつ、草津のまちづくりについて考えるきっかけを提供することを目的に、毎週火曜日の午前 10 時から正午までと毎月第 3 金曜日の午後 6 時から午後 8 時まで開設している。また、これまでに特別企画として下表の事業を実施した。

### 【やさしい日本語サロン特別セミナー】

	開催日	タイトル	内容	参加人数
1	令和元(2019)年 5月17日	多言語カフェ～インドをもっと知ろう～	インドの食べ物や伝統衣装を通じて、3人のインド人とやさしい日本語で交流	28人
2	令和元(2019)年 6月21日	若者たちの地域貢献の輪～ローターアクトから世界へ飛び立とう～	まちの活性化を、社会奉仕・国際奉仕・専門知識開発などローターアクトクラブの活動内容から学ぶ	36人

## 8. オープンスペース利用状況

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)のオープンスペースを中心として、個人利用や交流等、様々な利用が繰り返される。

今年度、草津市職員が光泉高校で「地域活性化」の授業を行ったことが縁となり、授業成果の一部を5月11日「高校生の考える『地域活性化・地域貢献』」発表会につながった事例や、英会話をテーマに光泉高校や他校の英語教員、大学生、地域住民が繋がった事例等があった。(別紙 A 参照)

### 【オープンスペース利用の一例】

利用日	内容	主催者	人数
令和元(2019)年5月10日	Farmers' Market コミュニティ交流会	学生主体団体	約20人
令和元(2019)年5月24日	ミステリースカイプを使った多文化交流勉強会	市民団体・高校生	約30人
令和元(2019)年6月22日	ボードゲームを通じた地域を知る交流会	市民団体	21人
令和元(2019)年6月28日	ミナクサまつり実行委員会会議	ミナクサまつり実行委員会	約20人
令和元(2019)年7月9日	草津市長と TALK★CAFE	市民団体・市	35人
令和元(2019)年7月19日	草津市総合計画策定ワーキンググループ	市	32人
令和元(2019)年8月1日	SPARK☆ジョブ CAFE	市	延べ116人
令和元(2019)年8月30日	まちづくりプラン策定合同ワークショップ	市	25人
令和元(2019)年9月4日	SDGs 防災マップ発表会	学生団体	52人

## 9. 視察

依頼があれば、随時、UDCBK の視察を受け入れる。

これまでに 6 団体の視察を受け入れ、UDCBK について説明を行った。(9 月 30 日現在)

	受け入れ日	都道府県	視 察 団 体	人数
1	平成 31(2019)年 4 月 24 日	滋賀県	愛荘町まちづくり協働課	4 人
2	令和元(2019)年 5 月 8 日	東京都	一般財団法人地域活性化センター	2 人
3	令和元(2019)年 7 月 3 日	東京都	国家公務員初任行政研修	3 人
4	令和元(2019)年 8 月 27 日	滋賀県	滋賀県企画調整課	4 人
5	令和元(2019)年 9 月 12 日	滋賀県	高穂地域包括支援センター	5 人
6	令和元(2019)年 9 月 27 日	滋賀県	草津市議初当選議員研修会	11 人

## 10. アーバンデザインセンター会議

令和元(2019)年 9 月 28 日、UDC イニシアチブに加入するアーバンデザインセンターが全国から集い情報交換を行う「第 7 回アーバンデザインセンター会議 in さいたま 大宮/美園」が埼玉県で開催され、フォーラムの中で、「UDC と公共セクター」をテーマにしたパネルディスカッションに UDCBK が登壇した。

## 11. 情報発信

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)の情報発信を行う。

### (1) 市ホームページ

UDCBK の専用バナーを市ホームページのトップページに貼り付け、UDCBK ページへのアクセスの利便性を高めた(5 月 22 日～)。(別紙 B 参照)



### (2) フェイスブック

UDCBK の日常を中心に、フェイスブックで週 2 回程度情報発信している。  
(今年度実績:9 月 30 日現在で 47 回発信(別紙 C 参照))

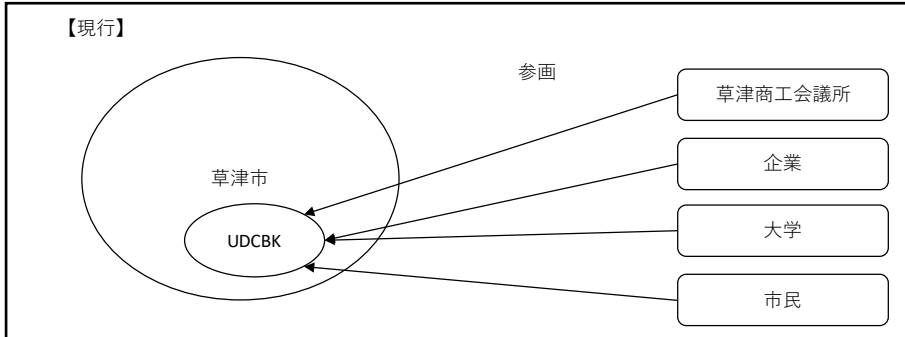
### (3) UDC イニシアチブホームページ (<https://udc-initiative.com>)

UDC を拠点とした各地のまちづくりを支援する一般社団法人 UDC イニシアチブの「全国の UDC」における UDCBK の紹介ページを更新した。(別紙 D 参照)

## 12. UDCBK 事業の法人化

平成30(2018)年度の第3回UDCBK事業運営懇話会において、法人化ワーキングの「当面の間は、現行組織体制で事業を実施し、活動結果を踏まえながら、法人化の方向性を引き続き検討する」との報告がなされ、本年度は上記に基づき検討を継続している。

### 【現行体制イメージ図】



### 【UDCBK法人化に係る長所と短所の比較】

実施団体	市	任意団体	一般社団法人	一般財団法人	NPO法人
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定財源がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の自由度が高い</li> <li>法的手続きが不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定が早い</li> <li>助成金や補助金を取り込むことができる</li> <li>法務局への登記のみで設立が可能</li> <li>企業の冠講座等の実施が可能</li> <li>専門家の常駐が可能</li> <li>設立時の財産が不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定が早い</li> <li>助成金や補助金を取り込むことができる</li> <li>法務局への登記のみで設立が可能</li> <li>企業の冠講座等の実施が可能</li> <li>専門家の常駐が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定が早い</li> <li>助成金や補助金を取り込むことができる</li> <li>法務局への登記のみで設立が可能</li> <li>企業の冠講座等の実施が可能</li> <li>専門家の常駐が可能</li> </ul>
デメリット (リスク)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定に時間がかかる</li> <li>予算制約が大きい</li> <li>議会承認が必要</li> <li>市の上位計画との整合性が必要</li> <li>企業の冠講座等の実施が不可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトベースでの事業展開となり、自転車操業</li> <li>市から職員が派遣できない</li> <li>補助金を取り込むことができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な人材確保</li> <li>継続的な運営資金の調達が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な人材確保</li> <li>継続的な運営資金の調達が課題</li> <li>設立時に300万円の財産が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な人材確保</li> <li>継続的な運営資金の調達が課題</li> <li>設立時に構成員が10人以上必要</li> <li>構成員の入会制限が不可能</li> </ul>

### 【UDCBK法人化に係る項目別比較表】

実施団体	市	任意団体	一般社団法人	一般財団法人	NPO法人
設立費用	—	有利	有利	不利	有利
設立検討期間	—	有利	不利	不利	不利
資金(予算)確保	どちらも言えない	不利	有利	有利	有利
人材確保	どちらも言えない	どちらも言えない	有利	有利	有利
意思決定	不利	有利	有利	有利	どちらも言えない
事業スピード	不利	有利	有利	有利	どちらも言えない
収益事業	不利	有利	有利	有利	どちらも言えない
社会的信用	有利	不利	有利	有利	有利



《参考》【これまでの経過】

平成 25(2013)年 3 月	草津未来研究所の調査研究で産学公民連携の先進事例として UDC を調査
平成 26(2014)年 3 月	草津未来研究所の調査研究でプラットフォームの有用性として UDC の設置を提言
平成 28(2016)年 10 月	平成 30(2018)年4月からの法人化を目指し、フェリエ南草津 5 階に UDCBK を設置
平成 29(2017)年 8 月	UDCBK の場所をフェリエ南草津 5 階から西友 1 階テナントに移転
平成 29(2017)年 12 月～平成 30(2018)年10 月	UDCBK 事業の法人化について UDCBK 事業法人化ワーキング部会にて検討
平成 31(2019)年 2 月	UDCBK 事業運営懇話会にワーキング部会の検討結果を報告

### 13. 定例会

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)の具体的な事業のあり方等について、UDCBK のスタッフで検討している。

【メンバー】

	役 職	所 属	氏 名
1	UDCBK センター長	立命館大学理工学部特命教授	及川 清明
2	UDCBK 副センター長	立命館大学理工学部教授	武田 史朗
3	草津未来研究所副所長	草津市総合政策部理事	木村 博
4	草津市産学公民連携調整員	草津市草津未来研究所産学公民連携調整員	本村 廣司
5	事務スタッフ	草津市総合政策部 草津未来研究所参事	中瀬 明美
6	事務スタッフ	草津市総合政策部 草津未来研究所専門員	坂居 雅史
7	事務スタッフ	草津市総合政策部 草津未来研究所嘱託職員	田村 祥代

【実績】

回数	開催日	内 容	人数
1	平成 31(2019)年 4 月 3 日	・アーバンデザインスクール(前期) ・社会実験 など	7 人
2	令和元(2019)年 5 月 10 日	・アーバンデザインスクール(前期) ・平成 31 年度事業方針(案) など	7 人
3	令和元(2019)年 6 月 12 日	・社会実験準備事業 ・UDCBK 事業運営懇話会意見 など	7 人
4	令和元(2019)年 7 月 3 日	・アーバンデザインセミナー ・社会実験準備事業 など	7 人
5	令和元(2019)年 8 月 2 日	・アーバンデザインスクール(後期) ・社会実験準備事業 など	6 人
6	令和元(2019)年 9 月 11 日	・UDCBK 事業運営懇話会について ・HP の更新 など	7 人